

令和6年度全国及び岡山県学力・学習状況調査の結果

4月18日(木)に行われた、全国及び岡山県学力学習状況調査の結果と分析についてお知らせします。

1年生平均正答率(%)			
教科	国語	数学	英語
全国平均	61.3	64.4	76.8
岡山県平均	61.0	63.6	76.6
津山市平均	60.6	63.9	76.0
加茂中学校	64.7	68.6	82.6
全国との比較	+3.4	+4.2	+5.8

2年生平均正答率(%)			
教科	国語	数学	英語
全国平均	65.1	54.7	52.7
岡山県平均	64.9	55.4	51.1
津山市平均	63.7	52.1	48.6
加茂中学校	72.7	65.2	56.5
全国との比較	+7.6	+10.5	+3.8
(// *1年時)	-0.6	-4.1	-2.5

3年生平均正答率(%)		
教科	国語	数学
全国平均	58.1	52.5
岡山県平均	59.0	53.0
津山市平均	56.0	46.0
加茂中学校	57.0	47.0
全国との比較	-1.1	-5.5
(// *2年時)	+1.7	-7.4
(// *1年時)	-0.2	+3

「質問紙調査」より(学年毎の肯定的回答)			
	1年	2年	3年
自分には、よいところがある。	100	67.9	93.3
将来の夢や目標を持っている	85.7	75.0	100
学校は楽しい	100	85.8	86.6
平日の学習時間(1時間以上)	66.6	64.3	60.0
携帯電話・スマホやコンピュータについて、家の人との約束を守っている。	60.1	67.8	80.0
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	90.5	60.0	100

調査結果から	
成果	・授業内で短いスパンでの既習事項の振り返り(小テスト等)を行ったことで、基礎基本を問う問題の正答率が向上した。 ・無回答なし ・全教科定期テストなどで「条件を与えた問題を出題する」ことで応用問題に対応できるようになってきている。 ・『かもサイクル』を活用して、伝達で終わらない話し合い活動の工夫を行うことで、語彙力や表現力が高まりつつある。
	・国語では「第1学年で学習した漢字を読む」「部首を答える力」に課題が見られた ・数学では、「与えられた文章題について、適切な立式ができる力」など、数学的な思考力に課題が見られた。 ・英語では、「対話と資料から、問われている内容を理解する」など、「事象と事象を結び付けて考える力」に課題が見られた。 ・全体として、「短いスパンでの振り返り(小テスト等)」は行えているが、中期、長期スパンでの振り返りが不十分である。
今後の取組	1. 「下学年の既習事項の復習」を徹底する。 ①既習事項の確実な定着を図るため、「下学年の既習事項の復習」を継続していく。 ②既習事項を「忘れる」ことがないように、「振り返りのスパンの工夫」をしていく(短期・中期・長期で)。 2. 思考力強化のため、「生徒とともにつくる学習サイクル(『かもサイクル』)」を引き続き推進していく。 ①「なぜそうなるのか」を思考する時間を深化させ、「検証する力」の向上をはかる。 ②「事象と事象を結び付けて(図と文章を関連付けて等)考える力」を向上させていく。 3. 家庭と連携し、「やる気にさせる」家庭学習を確立する。 ①「自主学習=やるのは自由」という認識を払拭するため、自主学習(家庭学習)と授業をよりリンクさせる。 ②自主学習推進週間等を活用し、家庭と連携して、「自主学習(家庭学習)は自分のためにする」という意識を醸成する。